

## 別紙4 部活動について

### 1 段階的な再開

再開当初は、心身の状況を十分に踏まえて慎重に活動計画を立て、過度な負担のかかる活動を避けるなど、怪我防止等に十分に留意する。特に6月14日までは心身のパフォーマンスを段階的に回復させるため、活動は平日のみに実施する。

#### <参考> 運動パフォーマンス回復のための活動計画の例

期 間	6月7日まで	6月8日から14日	6月15日から21日	6月22日以降
期分け	準備期	練習再開期	適応期	
目 的	体幹の強化 活動準備	体力・技術練習の アイドリング期	基礎体力の再構築 技術練習	基礎体力の向上 技術練習
強 度	40%程度	50%程度	70%程度	80%程度
活動時間	30分程度	60分まで	90分まで	90分まで

※運動部に所属する児童生徒向けのパフォーマンス回復に向けた活動例となる動画等を作成し、ホームページで公開しているので参考にしてください。

### 2 感染防止対策の徹底

#### (1) 全般に係ることについて

- ア 児童生徒本人と保護者に活動計画、内容等を周知した上で、児童生徒本人と保護者の意向を尊重し、参加の強制はしない。
- イ 児童生徒に発熱等の風邪の症状が見られる時は、部活動への参加を見合わせ、自宅で休養するよう指導する。
- ウ 活動前後の手洗い及び咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底する

#### (2) 感染リスクに十分配慮しなければならない活動等について

可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動から徐々に実施することを検討する。その場合、感染リスクの高い活動（密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向かい合って発生したりする活動）の実施は慎重に検討する。

#### (3) 部活動で使用する用具等の扱いについて

- ア 部活動で使用する用具等については、使用前後に消毒を行うとともに、児童生徒間で不必要に使い回しをしない。また、児童生徒は、用具等の使用前後に手洗い、消毒等をする。

**例** 飲料用ボトルやタオル・ビブスなどの共用はしない。

- イ 共用を避けることが難しい用具等（ボール、トレーニング器具、楽器、実験器具等）を使用する場合は、活動中・活動後にこまめに手洗い、消毒等をする。

**例1** 練習メニュー毎にボールの消毒及び手指の消毒又は手洗いをする。

**例2** こまめに床の清掃をする。

#### (4) 活動場所、部室、更衣室等の使用について

- ア 活動場所については、地域の感染状況にもよるが、可能な限り屋外で実施することが望ましい。ただし、気温の高い日などは、熱中症に注意すること。
- イ 体育館・柔剣道場・音楽室・教室等の屋内で活動する際には、その場所のドアは広く開け、常時2方向の窓を同時に開けて換気を行う。困難な場合には、こまめに換気をする。また、屋内においては長時間の活動を避け、十分な身体的距離を

確保できる少人数の利用とし、多数の児童生徒が集まり呼気が激しくなるような運動や大声を出すような活動等は絶対に避けること。

ウ 部室や更衣室等の利用に当たっては、少人数で短時間の利用とし、「三つの密」を避けることに留意する。更衣後は、ドアを開放して換気する。

**(5) 対外運動競技、合同練習会、合同発表会等について**

ア 健康診断を実施し、児童生徒の健康状態が把握できるまでは対外運動競技等に参加しない。

イ 当面の間、児童生徒の感染リスクや活動不足による怪我等のリスクを避けるため以下の活動は行わないこととする。

- ・他校との練習試合や合同練習会、県内外遠征、合宿
- ・不特定多数の人が集まるような発表会、演奏会等

**(6) その他**

運動部活動でのマスクの着用については、体育の授業における取り扱いに準じること。